TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音：成長する教会の基本（その 1）
御言葉をひたすら守ること　使徒言行録 2:42-47

2024 年 2 月 24 日 & 25 日
神永　譲（ジョエル）　牧師

I.　初めに

ご挨拶とはじめに

TBC 渋谷キャンパスにいる皆さん、そしてスバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、福岡インターナショナルチャーチ、TBC 三郷、TBC ウエストトウキョウにいる兄弟姉妹、友人の皆さん、ようこそ！

今週末、皆さんの前でメッセージをできることを心から感謝します。神に賛美と栄光あれ！知らなかった人もいるかもしれませんが、私は 5 ヶ月前の 9 月に脳の手術を受けました。検査の結果、腫瘍は良性でした。それ以来、順調に回復しています。私の癒しと回復のために祈ってくれた TBC ファミリー、世界中にいる友人たちに感謝します。

祈りましょう！

もし皆さんに、「教会が成長し続けるために、私たち教会は何をすべきでしょうか？」と聞いたら、次のような答えが返って来るでしょう。街に出て福音を伝える。若者たちに手を差し伸べる。効果的な礼拝経験をする。教会としてもっと祈る。人間関係、結婚、家族についてもっとメッセージをする。もっと多くの人に奉仕するように勧める。弟子訓練に集中する。ゴスペル・コンサートを開催する。より多くの献金を促す。SNS をもっと活用する。新しいビルを建てる。駐車場を増やす。トイレを増設する…ただし、うまく機能することを確認する。

これらは本当に良いアイデアであり、わくわくする働きと奉仕です。そのうちの 1 つか 2 つ、あるいはすべてを組み合わせたら効果的かもしれません。でも、今日は一緒に、最初にできた教会を訪問しましょう。最初の教会が実際に何をして、どのようにコミュニティとして成長したのかを見てみましょう。そして、それと同じくらい重要なのは、私たちが彼らの例から学ぶことです。

最初の教会の誕生（使徒 2:36-41）

イエスが天に召された後、数日後のペンテコステの日（五旬祭）、または収穫の日、二階の部屋で使徒たちと最初の弟子たち合計 120 人が祈っていました。すると突然、彼らは聖霊に満たされ、さまざまな言語で話し始めました。他の地方からエルサレムを訪れていたユダヤ人たちは、自分たちの方言をガリラヤのユダヤ人たちが話しているのを聞きました。彼らは、すっかり驚いて、ガリラヤ人は酒に酔っているのではないかと疑ったほどでした。

そこでペテロは、群衆に向かって大胆に説教を始めました。彼の説教は主に、旧約聖書に預言されているイエスの生涯、働き、死と復活についてでした。そして、使徒言行録 2:36 の次の言葉で締めくくりました。

「だから、イスラエルの家はみな、はっきりと知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」

そして、37 節には群衆の反応が書かれています。

人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロと他の使徒たちに、「兄弟たち、私たちは何をすべきでしょうか」と言った。

その答えとして、ペテロは彼らに具体的な指示を与えました。

そこで、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼（バプテスマ）を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。」この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子どもたちにも、また、遠くにいるすべての人にも、つまり、私たちの神である主が招いてくださる者なら誰にでも、与えられているものなのです。」ペトロは、このほかにも多くの言葉で証しをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と言って彼らを励ました。ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼（バプテスマ）を受け、その日に 3,000 人ほどが仲間に加わった。

こうして最初の教会が誕生しました。聖霊の力強い到来と働きによって、福音のメッセージが宣べ伝えられたのです。人々は自分の罪を確信しました。彼らは古い宗教と伝統を悔い改めて洗礼を受けました。120 人から、たった一日で 3120 人になりました。（多くのアッシャーが出席者を数えていたのでしょう。）

次の質問は、この後どうするか、です。主人である主イエスに従うことを決意した、この新しい動きに加わったばかりの何千人もの人々をどうすればよいのでしょうか？

メインの聖書箇所である使徒 2:42－47 を紹介します。

そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業としるしが行われていたのである。信じた者たちは皆一つになって、

すべての物を共有にし、財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。

復活したキリストの継続的な働きと聖霊の力強い活動によって、ユダヤ人クリスチャンを中心に構成されたこの新しい信徒のコミュニティは、信仰において、神との関係と互いの関係において成長し、また数も増えていきました。

そのコミュニティでは、素晴らしい、力強い働きがありました！私たちの教会、TBC でも同じことを経験したいですか？この最初の教会が経験したように、横にも(互いに)、縦にも(神と共に)成長することを経験したいですか？

「ひたすら」何かをする、の定義

42 節と 46 節に、気になる言葉があります。皆さんも気になりましたか？それは「ひたすら」という言葉です。この言葉はこの文脈で何を意味するのでしょうか？

「ひたすら」何かをするのギリシャ語は Proskartereō です。

- あることを厳守し続けること。
- あることに熱心に、絶えずに取り組むこと。
- ある場所に絶えずとどまること。

(https://www.greekbible.com)

ある人やある物事に対してひたすら何かをする、何かに専念することは、その人の人生やその物事に常に関わっていることです。つまり、継続的にいちずであることで、その人や物事に完全にコミットしていることを意味します。

私生活で、私たちはいくつかのことに専念しています。1 日 3 回の食事、睡眠、お風呂に入ること、仕事に行くこと、SNS をチェックすることなど、その他人生で一般的なことに専念しています。

何に専念するかによって、私たちの時間とエネルギーをどう使うかが決まります。そして、私たちは時間とエネルギーをどう使うかによって、良い結果も悪い結果も、成長も衰退ももたらされます。

例:平信徒がひたすら守ったこと

何かをひたすら守るといえば、欠かさず教会に通っていたある平信徒(教会の常勤スタッフではない信徒)の話を思い出します。1850 年 1 月、雪が降りしきる嵐の日曜日の朝、イギリスのある小さな教会の牧師は教会に来られませんでした。教会員の一人で、靴職人だと思われる非常に痩せた男が説教壇に立って代わりに説教をしました。即興のメッセージでした。彼はイザヤ書 45:22「地の果てのすべての人々よ、わたしを仰いで、救いを得よ。わたしは神、ほかにはいない。」を引用しました。

雪がひどかったため、礼拝には 15 人ほどしか参加していませんでした。そのうちの一人はチャールズ・スポルジョンという 15 歳の少年でした。その教会は彼の母教会ではありませんでしたが、嵐のために自分の教会に行く途中に避難する場所が必要になりました。彼はその小さなプリミティブ・メソジスト教会が礼拝をしているのを見て、参加することにしました。クリスチャンホームで育った彼でしたが、その日、福音のメッセージを聞いて、イエスを仰ぎ見ることでそのメッセージに応答しました。彼自身の証によると、その日こそ彼が救われた日だったのです！

小さな教会で礼拝をキャンセルしようと思った人がいたかもしれませんが、説教をすると決めた人が現れました。その男性の礼拝を守りたいという心とシンプルなメッセージは、伝道者の王と呼ばれる男の救いにつながりました。伝道者の王として知られているスポルジョンは、生涯で 1000 万人以上の人々に説教をし、説教は 23 の言語に翻訳され、推定 5000 万人に届いたと考えられている、という記述を読んだことがあります。

成長する教会の基本

37-41 節から、福音のメッセージ、悔い改めと洗礼が、最初の教会の設立につながったことを見てきました。しかし、その最初の教会のメンバーは説教し、新しい人々に洗礼を授けただけでなく、いくつかの基本的な事項に完全にコミットしました。そうすることによって教会として成長しました。

私たち TBC は教会としても、同じように基本的な事項をひたすら守る必要があります。聖書箇所から、守るべきものを 7 つ特定できると思います。使徒の教え、交わり、パンを裂くこと、祈ること、互いに分け合うこと、神を賛美して礼拝すること、そして伝道です。「主は、救われる人々を彼らの数に加えられた」。

このメッセージでは、最初の基本的な事項である使徒の教えのみを取り上げます。数か月後にある次のメッセージは、御心であれば、残りの基本的な事項について見ていきたいと思います。

私たちは神の御言葉をひたすら守らなければいけない。

「使徒の教え」の定義

使徒たちの教えとは、ギリシャ語で didachē です。

- 指導、教育、教訓、教理

(https://www.greekbible.com)

最初のクリスチャンたちは、使徒たちの教えをひたすら守りました。使徒たちとは、イエスによって召された、イエスとともにイエスの働きに参加するように定められた 12 人のことです。彼らは、イエスが人の子として、また神の子としてどのような生涯を送ったかを目撃しました。イエスの教えに耳を傾け、そこから学びました。イエスが十字架につけられ、死からよみがえるのを見ました。そして、イエスが天に戻るまで、共にいました。

新しいクリスチャンに、使徒たちはイエスとイエスの教えについて教えました。おそらく旧約聖書から教えたと思います。当時、新約聖書はまだ書かれていませんでした。新約聖書は、神が聖霊を通して使徒たちの心の内に働いている中で構成されていきました。そして、私たちは、神の御言葉、すなわち聖書をひたすら守る必要があります。

聖書はすべて神の霊感を受けて書かれたもので、人を教え、戒め、矯正し、義に基づいて訓練するために有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い行いをもできるように、十分に整えられるのです。（2 テモテ 3:16-17）

この箇所は、聖書の著者、適用、そして目的を教えてくれます。一つずつ見ていきましょう。

聖書の著者（2 テモテ 3:16a）

「聖書はすべて神の霊感を受けて書かれたもの…」これは、聖書が神の息からうまれたことを意味します。旧約聖書と新約聖書の時代に、神はご自分を人々に現されました。その御子イエス・キリストを中心とする御国と被造物に関する御計画と目的を書き記すために、旧約聖書と新約聖書を用いりました。

神は聖なる完全なお方であるため、私たちは聖書が「常に正しい（infallible）」、「誤りのない（inerrant）」ものであると信じています。

「何よりもまず心得てほしいのは、聖書の預言は何一つ、自分勝手に解釈すべきではないということです。預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、人々が聖霊に導かれて、神からの言葉を語ったものだからです。（2 ペテロ 1:20-21）」

聖書の適用（2 テモテ 3:16b）

神が私たちに聖書を与えられたのは、それが有益であり、良い効果があり、役に立つからで、このように使われます。

- 教えるため…私たちの人生に対する神の御心と目的を説明する。
- 戒めるため…私たちの生活の中で間違っているところを示す。
- 正すため…私たちの間違った態度や行動を変えるために助ける。
- 義の訓練をするため…私たちが正しく生きるための正しい教えを与える。

聖書の目的（2 テモテ 3:17）

神はまた、なぜ私たちに聖書を与えたか明らかにしています。目的はこれです。

「こうして、神に仕える人は、どのような善い行いをもできるように、十分に整えられるのです。」

- 完全（十分）になる…すべての信徒、TBC のメンバー全員は、完全になる、成熟する過程にいるべきです。神が私たちに召されたこと、つまりどのような善い行いを実行できるように必要なものは何一つ欠けてはならないということです。あなたは完全になっていますか？
- 備え（整え）られる…善い行いをできるように十分に備えらえること。良い行いによって神に仕えるために必要なものが完全に備えられていることです。あなたは整えられていますか？

神の御言葉をひたすら守る方法

1）聖書は神の言葉そのものであるという真理にコミットする。これがすべての始まりです！聖書を信じることに問題があるなら、まずこれを解決しなければなりません。

2）毎日聖書を読み、学ぶことにコミットする。そうです、毎日です。1日1章でもよいです。体のために毎日食べ物を食べるなら、自分の内面、つまり自分の心や精神のために同じように御言葉を食べてください。

最初の弟子たちは、私たちのように簡単に手の届くところに聖書がありませんでした。今では、聖書のいろいろな翻訳やさまざまな言語もあります。神の御言葉がすぐ手に入ることをおおいに活用しましょう。

3）聖書から学んだことを実践することにコミットする。そうです、私たちは学び続けなければなりません。学ぶことをやめると成長が止まります。しかし聖書の知識は、私たちの頭の中にとどまったままでいてはいけません。行動に移さなければなりません。

「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの人であってはなりません。」（ヤコブ 1:22）

御言葉をひたすら守ることの個人的な例

（1）私はクリスチャンになる前、独身の男女が結婚せずに一緒に暮らすことは問題ないと信じていました。しかし、御言葉にはこうあります。

「淫らな行いを避けなさい。人が犯す罪はすべて体の外にあります。しかし、淫らな行いをする者は、自分の体に対して罪を犯すのです。知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。」(1 コリント 6:18-20)

(2) クリスチャンになった後、以前はすでに救われているのだから、浸礼によるバプテスマは必要ないと思っていました。しかし、御言葉にはこうあります。
「その時、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼(バプテスマ)を受けるためである。ところが、ヨハネは、それを思いとどまらせようとして言った。「私こそ、あなたから洗礼(バプテスマ)を受けるべきなのに、あなたが、私のところに来られたのですか。」しかし、イエスはお答えになった。「今はそうさせてもらいたい。すべてを正しく行うのは、我々にふさわしいことです。」そこで、ヨハネはイエスの言われるとおりにした。」(マタイ 3:13-15)
私が主と呼んでいるイエス御自身もバプテスマを受けました。それなのに、イエスの模範に従わずにいられましょうか。

(3)フルタイムで主に仕えるようにと主から召しを受けた後も、仕事を辞めなくても、フルタイムで宣教師として働く人たちをサポートできるように、一生懸命働いてお金を稼げばいいと思っていました。しかし、御言葉にはこうあります。
「サムエルは言った。「主が喜ばれるのは焼き尽くすいけにえや会食のいけにえだろうか。それは主の声に聞き従うことと同じだろうか。見よ、心して聞くことは雄羊の脂肪にまさる。」(サムエル 15:22)

「その頃、イスラエルには王がいなかった。そして、おのおのが自分の目に正しいと思うことを行っていた。」(士師記 21:25)

結論
終わりに、私の最初の聖書の 1 ページ目に印刷されていたイザヤ書 40:8 を最後に引用したいと思います。
「草は枯れ、花はしぼむ。しかし、私たちの神の言葉はとこしえに立つ。」

TBC ファミリーの皆さん、そして友人の皆さん、神の御言葉をひたすら守りましょう。

祈りましょう！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0924jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
2 月 25 日(日) 1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも
https://t-b-c.us/classes

★クラス 402
教会員になるためのクラス
3 月 10 日(日) 1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 101 まで修了した TBC 教会員

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu